

## E-33 当科におけるてんかん手術例の検討

東京女子医科大学 小児科<sup>1)</sup> 聖母病院 小児科<sup>2)</sup>  
 東京都立神経病院 脳神経外科<sup>3)</sup> 東京大学 脳神経外科<sup>4)</sup>  
 ○向平 暁子<sup>1)</sup> 小国 弘量<sup>1)</sup> 斎藤 加代子<sup>1)</sup>  
 大澤 真木子<sup>1)</sup> 粟屋 豊<sup>2)</sup> 清水 弘之<sup>3)</sup> 鈴木 一郎<sup>4)</sup>

【目的】小児期発症のてんかんの外科治療の適応基準を明らかにする。

【対象および方法】当科受診中のてんかん患者のうち、外科治療を施行した13例（男5例、女8例）。これらにつき後方的に、てんかん発症年齢、国際てんかんおよびてんかん症候群分類、画像診断、手術に至った経過と理由、手術時年齢、手術施行までの期間、術式、術後経過を検討した。

【結果】てんかん発症年齢は、生後2ヶ月～15歳（平均4.1歳）、症候性局在関連性てんかん（LRE）9例（前頭葉2、側頭葉4、頭頂葉1、多葉性2）、症候性全般てんかん2例、Rasmussen症候群2例であった。頭部CT/MRIでは、1例には異常所見を認めないが、局所性大脳皮質萎縮を6例、脳形成異常を4例、くも膜嚢胞、左優位の大脳半球萎縮を各1例に認め、LRE全例で局在を推定し得た。発作頻度は側頭葉てんかんを除き、全例毎日1～5回から50回以上であった。頻回の転倒発作を2例、頻回発作による片麻痺合併を2例に、けいれん重積の反復を1例に認める等、術前の日常生活は著しく障害されていた。全例4年以上にわたる種々の薬物治療に抵抗した。てんかん発症から手術施行までの期間は4年4ヶ月～23年1ヶ月（平均11.2年）、手術時年齢は4歳4ヶ月～22歳（平均13.6歳）、手術は延べ21回施行され、内訳は脳梁離断術5例、機能的半球切除2例、MSTおよび皮質切除術14例であった。術後観察期間は3ヶ月～4年8ヶ月（平均1.84年）で、発作完全消失4例（転倒発作2、部分発作2）の他、全例で発作頻度が著明に減少した。術後精神症状を1例、一過性単麻痺または片麻痺を4例に認めた。

【考察】術後経過が短いため、外科手術による発作抑制の効果は尚経過観察する必要があるが、日常生活が著しく障害される小児難治てんかん例には外科的治療を考慮すべきと思われた。

## E-34 乳幼児期発症の部分てんかんの臨床的検討

島根医科大学小児科、現滋賀県立小児保健医療センター<sup>1)</sup>  
 現国立精神神経センター<sup>2)</sup>、隠岐病院小児科<sup>3)</sup>  
 瀬島 斉、伊藤 正利<sup>1)</sup>、田草 雄一<sup>2)</sup>、岸 和子、  
 木村 正彦、若園 明裕<sup>3)</sup>、山口 清次

【目的】乳幼児期発症の部分てんかんは難治性で予後不良のものが多いといわれているが、Benign complex partial epilepsies in infancy などのように予後良好のものもあり、臨床像は様々である。そこで、我々の経験した乳幼児期発症の部分てんかん13例について臨床的検討を行った。

【対称及び方法】2歳以前に発症したてんかん症例で1991年7月から1995年4月の間に発症し島根医大小児科及び隠岐病院小児科で診断治療している12例と1980年発症で現在も治療中の1例、計13例（男児9例、女児4例）を対象とした。部分てんかんの診断はILAEてんかん発作分類（1981）の部分発作に該当する発作を繰り返し認め、非てんかん性の疾患の除外されたもの、または1回の発作でも脳波検査上局在性のてんかん性放電を認め、発作症状と合致するものとした。これらの症例で、発作症状、脳波及び画像診断所見、治療反応性等を検討した。

【結果】13例中4例（2家族）が兄妹例であった。発作症状は、片側あるいは二次性に全般化する強直、間代性痙攣が最も多かった。発作間欠時脳波では8例で局在性てんかん性放電を認めたが、残る5例ではてんかん性放電を認めなかった。尚、この5例中2例で発作時脳波を記録出来たがいずれも側頭葉起源であった。MRI、SPECT等の画像診断でてんかん病巣と結びつく異常を認めた例は少なかった。潜因性と思われる8症例（4兄妹例を含む）はカルバマゼピンあるいはバルプロ酸単剤投与後比較的容易に発作がコントロールされたが、症候性のもものではコントロール困難な例が多かった。

【結論】発作症状、治療反応性などは個々の症例において差があったが、良好な経過をとる症例が意外に多かった。また、兄妹例が2家系あったことから遺伝的素因も一部関与していると考えられた。